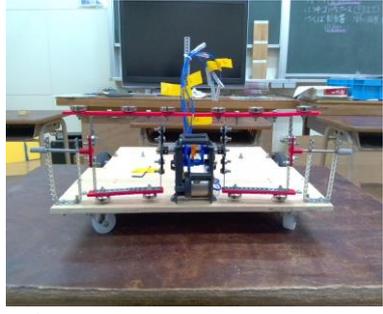
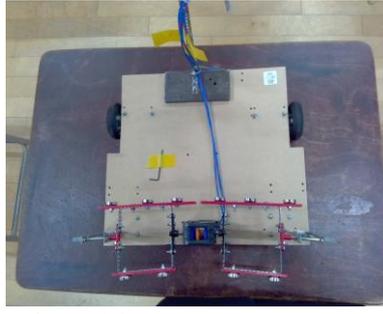




この作品はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

学校名	福岡市立博多中学校		
(ふりがな)	げんきゆうびん		
チーム名	ゲンキ郵便		
ロボコンルール (名称とURL)	第17回とやまオープン中学生ロボ魂オンライン部門	都道府県名	福岡県
製作期間	2020年9月頃から2020年11月頃まで	製作時間	40時間
ロボットに関する写真と図 必ず、ロボットの概要や機構等の特徴がわかる写真や図等を1~4枚で掲載する。 写真や図に記号等を書き込み、下の枠「ロボットのアイデア概要」で解説する。	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>一台目のアーム</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>一台目の全体</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>二台目のタイヤ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>二台目の全体</p> </div> </div>		
ロボットのアイデア概要【報告書要約】 どのような動きを実現するために、具体的にどのような素材や機構を用いて実現したのか、枠いっぱい解説を書き込むこと。	<ul style="list-style-type: none"> ○一台目はアームに磁石を付けてライチョウのヒートンにその磁石をくっつけて取れるようにしました。 ○二台目は、プチプチの上にライチョウを運ぶための輸送版を固定せずに乗せて運ぶようにしました。 ○プチプチは二枚敷き、範囲を大きくしてずれてもあまり問題がないようにしました。 ○二台目の車体は大きくして道を進むときにタイヤが輸送版に当たって邪魔にならないようにしました。 		
参考資料 製作上参考にした資料や、参考にした先輩のロボット等の情報についてできるだけ詳しく解説する。			

第1章 全体の構想

。どのようなロボットにしたいか

一台目は、ライチョウを速く少しでも運べるようにしたいと思い、ロボットを作りました。二台目は、ライチョウに伝わる衝撃をなるべく少なくしたいと思い、ロボットを作りました。



第2章 タイヤについて

2台目のタイヤが、なぜ1台目のタイヤより大きいかというと、2台目の運ぶ道がでこぼこしており、小さいタイヤだと道の間にはさまってしまうのでタイヤを大きくしました。

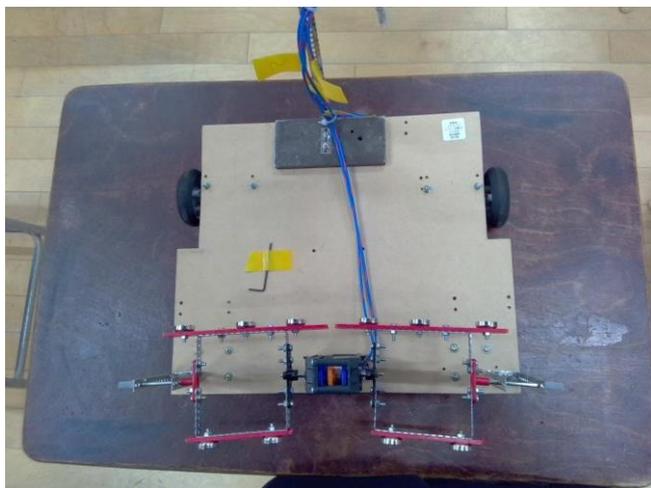
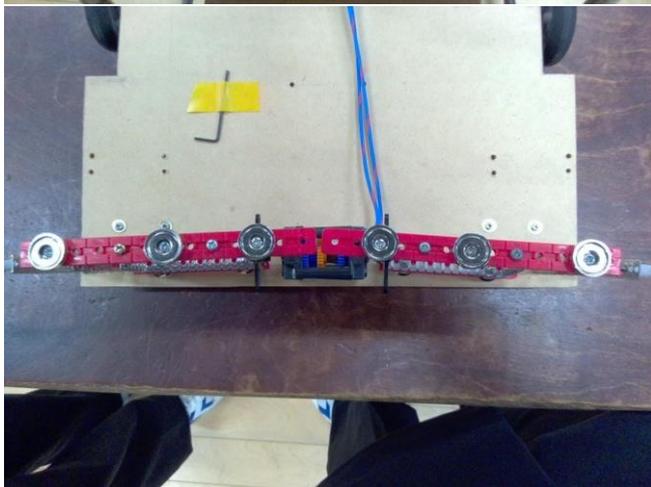
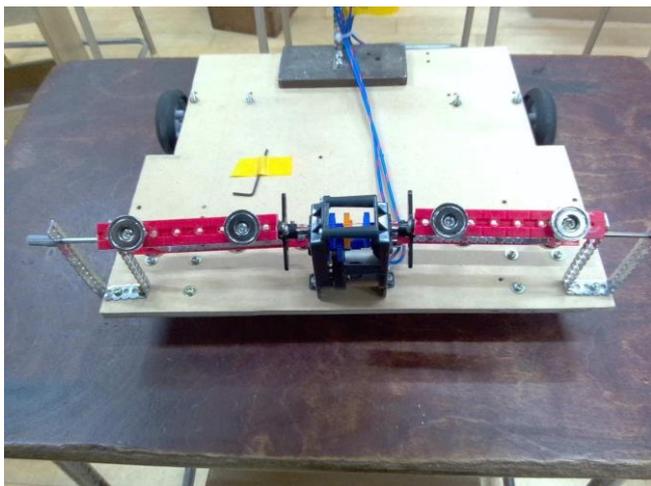
なぜタイヤの素材が前と後ろでちがうのかということ、前の方が登るときに力があるので後ろよりも少し大きくして後ろは前より少し小さくして一気にまえにいき、時間を早くしようと思い素材を変えました。



第3章 アームについて

- アームは、ネオジム磁石という強力な磁石をつかってひっつけて取れた時におちにくくしました。
- アームを回転させて、前と後ろで五個は取れるようにしました。

。二つアームを作って、合計十匹取れるようにしました。



第4章 2台目について

- 二台目は、運ぶときに落ちにくくするためや、衝撃を和らげるためにプチプチを使いました。
- 土台を大きくして、ライチョウを輸送板に乗せて運ぶ時に少しずれても問題が無いようにしました。

